

公共施設のあり方を考える

— 高浜市を次世代へ
つなぐために —

「高浜小学校区の公共施設のあり方」

市では、平成21年度から公共施設の老朽化問題が喫緊の課題ととらえ、公共施設のあり方検討に取り組んできました。昨年11月からは新庁舎の建設工事や小学校区ごとの市民説明会も始まり、高浜市を次世代へつなぐための具体的な一歩を踏み出しています。

市民の皆さんと現状・課題を共有し、ともに知恵と工夫を出しあって、この問題に向きあっていくため、今回は、高浜小学校区の公共施設のあり方について、めざす姿や取組みの方向性などを紹介します。

■高浜市がめざす公共施設の姿

現行ある施設以外に、新しい公共施設はつくらない!

学校を地域コミュニティの拠点として位置付け、他の施設との複合化を視野に入れた施設の改修・建替えを実施し、将来にわたり持続させる。



■高浜小学校区における公共施設マネジメント 現在の検討の方向性

①高浜小学校の建替えにあわせた、他施設の機能の複合化【モデル事業】

今後、本市が進める公共施設のあり方のモデルケースとして検討を進め、将来を担う子どもたちの学び舎として、そして、地域ぐるみで子育て・子育てを支えていくための環境の充実をめざします。

また、子どもから高齢者まで、小学校区の住民が集う「地域活動拠点」として、新たな交流の場をめざします。

【高浜小学校の複合化イメージ】



【複合化の検討対象となる施設】

大山公民館、老人憩の家(北部、中部、ふれあいの家)、児童センター(児童クラブ)、いちごプラザ、ものづくり工房あかおにどん、IT工房くりっく、体育センター、市立図書館、中央公民館ホール

※今後どの施設の機能がどの時期に移転するかを皆さんと協議していきます。

②中央保育園、高浜ふれあいプラザを大規模改修・建替え

今後も維持していく施設として、財政状況などをふまえながら、計画的に大規模改修や建替えを進めます。

※ふれあいプラザについては、今後まち協の活動拠点のあり方の検討を行っていく中で、状況に応じて学校への機能移転を検討します。

■複合化のスケジュール(案)

施設名	時期
高浜小学校	H29~H31 建替え
(小学校複合化検討対象施設)	H27~H31 複合化・跡地の検討
中央保育園	★H39 大規模改修
高浜ふれあいプラザ	★H34 大規模改修 ★H58 建替え

公共施設のあり方を考える市民説明会(翼小学校区)

とき 1月14日(木) 午後7時~

ところ 翼ふれあいプラザ

主要公共施設や翼小学校区における公共施設の今後のあり方について、市民の皆さんと情報共有し、意見交換をします。ぜひ、参加してください。



◆公共施設のあり方検討に関する詳しい内容は、市公式ホームページのトップバナー「公共施設マネジメント」をクリック!

問合せ先 圃行政グループ ☎52-1111 (内線351)